

# 与謝野町総合計画審議会 会議報告書

日 時：令和元年10月7日（月）午後7時00分から午後9時10分まで

場 所：岩滝保健センター 会議室1・2

（敬称略）

出席委員

堀江 弘彦	山崎 政巳	白敷 利昭	三田 智子
藤原 さゆり	岡田 三栄子	大内 一博	嶋崎 信次
石倉 由加里	木村 順一		

欠席委員

小山 拓也	後藤 康宏
-------	-------

事務局等

小池課長	小谷課長補佐	井上主任
------	--------	------

## 《会議の要点》

▼与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略についての質問 （参照：スライド資料、資料1～2）

### Q-①基本目標1にある「織りなす人」の人物像は何か

A-①与謝野を愛し、多様性を認め合い、新しいモノやコトを創出する人材を意味し、総合戦略基本目標1においてこれらの人づくりを掲げています。織物にちなんだ表現。

### Q-②基本目標1にある数値目標の指標「与謝野町みらい町民大学（仮称）学生数」及び「創造人財の育成事業への参加者数」のH26の数値がゼロ人とあるが、H26時点でこの事業はなかったということか

A-②よさのみらい大学事業はH29年度から始まっていますが、継続しての既存事業もあります。戦略策定時点をゼロ基点として計画期間内でどれだけの目標とするかという設定です。

### Q-③基本目標2にある数値目標の指標「新規創業件数」の30件（H31）の内容は

A-③30件（H31）は目標値であり、実績値ではありません。H30実績（累計）は7件です。H30単年では3件、内訳は岩滝地域での創業1件、農商工連携の創業2件。

### Q-④基本目標3にある数値目標「定住人口減少の抑制」の22,260人（H26）と目標値20,894（H32）の設定根拠は

A-④人口推計（社人研H25年3月推計）から当初数値を設定し、H32の目標値は京都与謝野人口ビジョンにおける町推計2-1における2020年の数値としています。人口減が抑制できているかどうかを評価としています。

▼ワークショップ （参照：スライド資料、参考資料1～3、総計別冊）

### ①『まちへの人の流れをつくる』 3グループで実施（30分）

\*基本目標3の施策や主な取り組みをベースに、移住・定住や関係人口につながる工夫やアイデアなどの意見交流

②『縮小社会の持続可能な地域づくり』 3グループで実施 (25分)

\*実感している課題について、家族・暮らし・地域などをテーマに出し合い、住みやすい暮らしを続けるためにはどうしたらいいかなどを意見交流

\*ワークショップでの意見概要は別紙のとおり

▼次回審議会の日程について

\*10/28～11/8 で調整の上、後日案内する

\*候補日…10/29、11/5、11/6

## 会議内容

### 1. 開会

(事務局)

みなさんこんばんは。定刻となりましたので与謝野町総合計画審議会を始めさせていただきます。委員の皆さまには公私ともにお忙しい中ご出席賜り誠にありがとうございます。

本日の委員出席状況につきましては、後藤委員様からご欠席、また嶋崎委員様は遅れてのご出席とご連絡を頂いております。

それでは開会にあたりまして、会長からご挨拶をいただきたいと思っております。

### 2. 会長あいさつ

(会長)

皆さま改めましてこんばんは。お忙しい中、また週初めのお出にくいところご参集いただきありがとうございます。

先週の土曜日に、認定こども園の運動会へ出席することがございまして、かわいい子どもたちが保護者の皆さまと一緒に運動会をされている姿をうれしく拝見しておりました。この子どもたちの何人が与謝野町に残ったり、帰ってきたりするのかなと考えながら参加させていただいておりましたが、「帰ってくるかな」ではなく「帰ってきてもらえる」10年後20年後の与謝野町となるように、微力ながら私たち審議会も何かのお役に立つことができればと思います。

皆さまもご存知のように少子高齢化がますます進んできますので、与謝野町で育った子どもたちが転出しても、与謝野町に戻って仕事がしたい、家族を持って過ごしたいと思えるまちになればと思いつつ、運動会での子どもたちの様子を拝見させていただいていたところです。

本日は限られた時間ですが、皆さまからの活発なご意見をいただき有意義な会議を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

### 3. 議題

(事務局)

この後の進行につきましては、会長でよろしく願いいたします。

(会長)

それでは最初に、前回会議内容でのお気づきの点やご質問、ご意見などをいただく時間を取りたいと思っておりますので、ざっくばらんにご発言ください。

(委員)

本日会議資料で事前配布のあったスライド資料番号9にある基本目標1\_織りなす人をつくるの数値目標について。みらい大学学生数0人から100人、創造人財の育成事業への参加者数0人から650人とあるが、平成26年度までは一切されていなかった事業と捉えてよいか。

(事務局)

基本目標1の具体的な施策として(ア)地域で育む地域人財の育成と(イ)創造人財の育成がありますが、主な事業であるよさのみらい大学は平成29年度からスタートした事業でございますので、指標『与謝野みらい町民大学(仮称)学生数』は平成26年度時点で事業開始前でしたので0人としています。指標『「創造人財育成」事業への参加者数』については、アベリスツイス交流事業等これまでから実施してきた事業もございますが、いずれの指標につきましても、総合戦略策定時点をゼロ基点としてどれだけ積上げられるかという視点で0人と設定しておりますので、戦略期間の5年間でどれだけの目標としようかというものでございます。

(委員)

当初数値が0人や0件となっていれば新規事業である、というわけではないということか。

(事務局)

新規事業、継続事業に関わらず、策定時点からどれだけ目標が達成できるかという設定であるということですが、既存事業が関係する指標によっては策定時点での数値を設定した方がいいと判断したものもあり、例えば、指標『新規就農者数』は32人設定となっております。

(委員)

「織りなす人」の人物像とは。

(事務局)

基本目標1のサブタイトルにありますが、与謝野を愛し、多様性を認め合い、新しいモノやコトを創出する人で、丹後ちりめんの織りにちなんだ表現となっております。

(会長)

多様な人が関係し合って新しいモノやコトが起こる様子をちりめんが織られていくことになぞらえた表現、語呂合わせのようで、漠然とした表現ではありますが、第1次の総合戦略では「人」「人づくり」をポイントとして、そういった人材も含め、幅広く人づくりをしていくということであらうと思います。

---

### (1) 与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略とは

(会長)

それでは前回会議内容のふりかえりも含め、与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略について議論を進めてまいりたいと思いますので、事務局から説明をお願いします。

----- 事務局説明(スライド資料、資料1、資料2参照) -----

(会長)

与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略とは、と事務局から説明いただいた内容についてご質問やもう一度説明してほしい箇所などございましたらお受けいたします。

(委員)

基本目標 2 にある数値目標『新規創業件数』が 30 件 (H31) とあるが、その内訳はどういったジャンルの創業だったのか。

(事務局)

30 件 (H31) は数値目標として設定しているもので、実績値ではございません。資料 1 で各基本目標の数値目標の達成度をご覧のとおり、実績値としては累計件数 7 件となります。資料 2 施策進捗一覧で、創造地域づくりの推進の KPI『エリア内における創業件数』で平成 27 年度から平成 30 年度までの実績推移を累計件数ですので、平成 30 年度単年度の実績値としましては 3 件となります。平成 29 年度までの実績内訳につきましては資料を持ち合わせておりませんのでお答えしかねますが、平成 30 年度の 3 件の内訳につきましては、農商工連携事業としてキッチンカーで創業された 2 件と岩滝地域内で店舗開業された 1 件となります。

(会長)

エリア内における創業件数の実績推移として各年度にある数値は単年度実績値ではなく累計数ということですので、平成 28 年度 1 件、平成 29 年度 3 件、の 4 件の内訳について職種も併せて後日の回答でお願いいたします。

**【後日回答】** エリア内における創業件数の実績値内訳について以下のとおり回答いたします。

○平成 28 年度・・・一般社団法人 PLACE (空間プロデュースカンパニー)

○平成 29 年度・・・鳥由 (飲食業)、天橋立バックパッカー匠 (宿泊業)、釣り人の駅

○平成 30 年度・・・キッチンカー 2 件 (農商工連携)、le lien (製造販売業)

(委員)

基本目標 3 まちへの人の流れをつくる の数値目標の捉え方について。指標『定住人口減少の抑制』がどう評価につながっているのか。

(事務局)

基本目標 3 の具体的な施策や取り組みによって与謝野町の人口減を抑制することが基本目標 3 の目的ですので、京都与謝野人口ビジョンの人口推移における平成 26 年の推計値を戦略策定時の基点とし、人口ビジョンのパターン 2-1 における平成 32 年 (2020 年) の 20,894 人を目標値と設定し、平成 25 年社人研推計よりもゆるやかな減少 (=人口減少の抑制) を達成できているかどうかという評価になるものです。

(2) 基本目標 3 「まちへの人の流れをつくる」について

(3) 「人口減社会における地域づくり」について

(会長)

事務局からの説明に続き、ワークショップに移りたいと思いますので、よろしくお願いたします。

※ワークショップでの意見は別紙まとめのとおり

#### 4. 次回審議会の日程について

（事務局）

次回につきましては、10/25～11/8 の間で調整させていただき、内容としましては本日後半で行った地域づくりに関する事、そして人づくりについても触れていきたいと思っております。

#### 9. 閉会

（会長）

本日も長時間にわたりお疲れ様でした。いろんなご意見をいろんなお立場から活発にいただき、また、議事のスムーズな進行にご協力いただきありがとうございました。それでは山崎副会長からご挨拶をいただいて閉会とさせていただきます。

（副会長）

皆さま本日はご苦勞様でした。活発な意見をたくさん出していただき、また次回を楽しみにしています。いろんな課題を集めてもらって、さらなる意見をお出しいただき、より一層いい会議にしていきたいと思っております。お疲れ様でした。

以上